

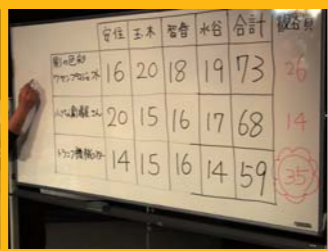
P新人賞2016 最終選考上演会

「P新人賞2016」の最終選考上演会が2017年2月25日、26日の2日間にわたって催されました。最終選考委員である安住恭子氏(演劇評論家)、玉木暢子氏(日本ウニマ理事、人形演劇企画室β)、智春氏(演出家、振付家、肉肉演劇作家、クラウン)、水谷イズル氏(現代美術家)の投票によって、P新人賞は影の色彩 ワヤンプロジェクト(石川県)の『影絵芝居 夜叉ヶ池』に、また観客投票による観客賞はトランク機械シアター(北海道)の『ねじまきロボットα〜ぼくのうまれたひ〜』に決定しました。

惜しくも賞を逃した小さな劇場屋さん(福岡県)の『ぶらぶら人形ものがたり』も含め、見事に様式も方向性も異なった作品が揃い、選考は困難を極めました。講評では「説明と想像力」「壊す勇氣」「人形ってなんだ?」「完成度と伸び代」という言葉が交わされ、次代の人形劇について参加者全員が深く考えさせられました。P新人賞を受賞したワヤンプロジェクトには、今年度ひまわりホールにて新作を上演していただきます。ご期待ください。



観客にも公開される最終選考の様子。得点表が生々しい劇闘を伝えている?

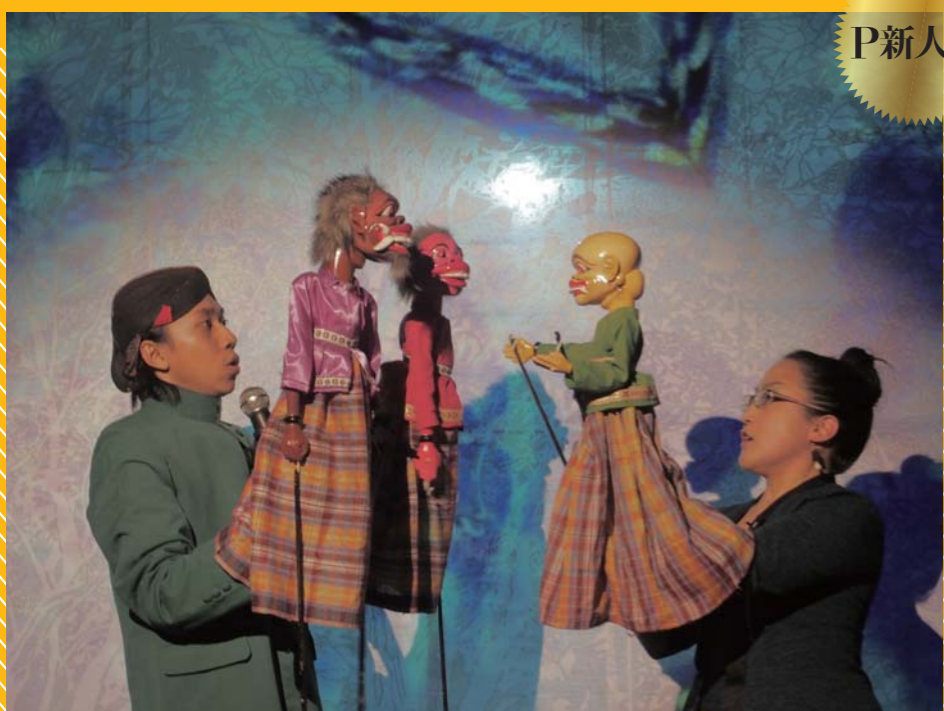


P新人賞2016授賞式の様子。影の色彩



観客賞に輝いたトランク機械シアターにはワヤンプロジェクトの面々は歓喜の涙、涙! *名古屋メシセットが贈られました(笑)

愛知人形センター副理事長 たかはしいちげん



P新人賞

影の色彩 ワヤンプロジェクト(石川県)
原作・泉鏡花 構成・演出・影の色彩 ワヤンプロジェクト
『夜叉ヶ池』



観客賞



小さな劇場屋さん(福岡県)
『ぶらぶら人形ものがたり』
原案・ウラジミール・マヤコフスキー 総合演出・山田恵理香

トランク機械シアター(北海道)
『ねじまきロボットα〜ぼくのうまれたひ〜』
脚本演出・立川佳吾



知立祭の山車からくり人形

若宮まつり・幣振り人形

Attention please! 中部日本の山車とからくり人形 ②



亀崎潮干祭

出来町天王祭・逆立ち唐子

海辺の5月、都市の6月に初夏の祭り

桜吹雪とともに春の祭りが終わると、もう初夏です。5月は亀崎潮干祭や大野祭、伏木曳山祭など、海辺へ山車を曳きまわし、からくり人形を演じて氏神に豊漁を祈る祭りが盛んに行われます。

6月は名古屋市筒井町、出来町天王祭や西枇杷島祭りなど都市の夏祭りは、京都の祇園祭りをルーツとした疫病退散、庶民の健康を祈願する祭りです。山車を持つ各町内の人々は、隣町より一寸でも変わったからくり人形をと、張り合って所蔵するとともに祭りの1か月ほど前から地域の集会所へ集まって人形操作の練習や、お囃子の稽古にいそむのです。

江戸時代にはじまる山車からくり人形の人形方になれる人は男性で、しかも家の長男でなければならないなど昔は地域文化を継承するための厳しい規則がありました。人形の逆立ち、面被り変身、文字書きなどは、人形方が山車の中山で人形につけた糸を下から引いたり、指金(さしがね)という棒を突き上げて操作します。熟練した技術と、人形方仲間のあうんの呼吸が必要とされます。

祭りの山車は総木製で、幅約2メートル、高さ5~8メートルあり、常時は山車倉に保管されていますが、亀崎のように祭りひと月前に組み立てる地域もあります。その場合、釘は一本も使わず、沢山の部品から長老の記憶だよりに皆で組み上げていく作業は素晴らしい伝統文化です。

NPO法人ミネルバ名古屋代表 千田靖子

からくり人形の演技

「いにしへのロボット」と称される驚きの演技は、首を左右に振り、うなずき、手足を動かす。目を開けたり、閉じたり。舌を出したりひっこめたり。逆立ち。鉄棒で回転。文字を書く。天井に下げた線を渡る。8本ほどの杭の上を足敷で一人歩く。変身(青年から老人へ、姫が鬼に、公家が赤い顔の狸々になど)。人形芝居20分(知立)

山車(だし)の鑑賞

山車は動く美術館と言われるほど、昔の人々が精魂込めて建設し、種々の装飾を施した美術品である。車輪のついた木組みの下山を囲む大幕、中山に懸けた中華はラシャ地に縫い取り刺繍など豪華なものだ。地域により山車の型、装飾方法、デザインが異なる。愛知県半田市の山車は豪華木彫刻が有名。富山県高岡市は漆塗り、彫金、塗り泊に優れる。

からくり人形の載る山車が見られる祭り(夏)

祭りの名称	日程(5月~7月)	場所	人形の演技	*
知立祭(隔年)	5月2日・3日	知立神社	からくり人形芝居「一の谷合戦」	1/5
亀崎・潮干祭	5月3日・4日	半田市神前神社、尾張三社	逆立ち、綾渡、変身	5/5
大野祭	5月3日・4日	常滑市風の宮神社、小倉神社	逆立ち、面被り	3/3
高岡御車山祭	5月1日	高岡市関野神社	回転唐子、太鼓打ち	3/7
大垣祭	5月2日曜日	岐阜県大垣市八幡神社	鯉叩き、狸々、文字書	8/11
伏木曳山祭	5月15日	富山県高岡市伏木神社	唐子遊び、三番叟	6/6
若宮まつり	5月15日・16日	名古屋若宮八幡社	逆立ち	1/1
筒井町、出来町天王祭	6月第1土日曜日	各須左之男社	湯取巫女、逆立ち変身	5/5
西枇杷島まつり	6月第1土日曜日	清須市西枇杷島各4町神社	能舞い、逆立ち	5/5

*上記以外にもあり。お問い合わせはsenday@ams.odn.ne.jp 千田まで



特定非営利活動法人
愛知人形劇センター
〒460-8551 名古屋市中区丸の内3-22-21
損保ジャパン日本興亜名古屋ビル8F
TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309
http://aichi-puppet.net/ MAIL:mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター
ひまわりホール情報誌
あぶ
愛知人形劇センター
〒460-8551 名古屋市中区丸の内3-22-21
損保ジャパン日本興亜名古屋ビル8F
TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309
http://aichi-puppet.net/ MAIL:mail@aichi-puppet.net

あぶ

Aichi Puppetry Center
ひまわりホールから発信するシアター情報誌

Pをめぐる挑戦に、美しき火花



- P新人賞2016 最終選考上演会より
- ① 影の色彩 ワヤンプロジェクト(石川県)『影絵芝居 夜叉ヶ池』(原作:泉鏡花、構成・演出:影の色彩 ワヤンプロジェクト)
 - ② トランク機械シアター(北海道)『ねじまきロボットα〜ぼくのうまれたひ〜』(脚本・演出:立川佳吾)
 - ③ 小さな劇場屋さん(福岡県)『ぶらぶら人形ものがたり』(原案:ウラジミール・マヤコフスキー、総合演出:山田恵理香)